

Radio On The Street
西谷文和

路上のラジオ ファンクラブニュース

2021.2.3 第6号

発行責任者：西谷文和

連絡先：〒564-0041 大阪府吹田市泉町1-22-33

TEL 06-6170-4757

メール otayori@radiostreet.net

このニュースは募金いただいた方、講演会に参加された方に郵送しています。今後も年に4回程度発行します。

ラジオの聞き方

スマホやパソコンで「路上のラジオ」と検索してください。
YOU TUBE で聞けます。
チャンネル登録していただきますと、毎回お知らせが来るので便利です。

内容充実？ それともコロナ？

「路上のラジオ」を始めてからもなく2年、このファンクラブニュースも第6号目となりました。YOU TUBEのカウント数を見ると、当初は1回の放送につき5千程度の回転だったものが、最近ではなんと7万回越え！ この状況にスタッフ一同とても喜んでいました。

「これはなー、ラジオの内容が充実しているからや」。胸を張る私に「コロナでみんな暇やからと違う？」。スタッフの「冷静な分析」に黙り込む（苦笑）。

「ところで、西谷はなぜ市役所を辞めてフリーになったの？」。ラジオの回転数が上がるにつれて、こんな質問が舞い込むようになりました。今号ではその経過について、ざっとご説明します。

2度目のイラクで…

「とうとう始まったな」。アメリカがイラク戦争を開始した2003年、

カカ・ナカムラを忘れない
これから現場から発信していきます

私は大阪の吹田市役所に勤務していた。この頃まで有給休暇を利用しての海外一人旅を趣味としていて、恐怖心はあつたのだがイラクに行ってみようと思いついた。首尾よく首都バグダッドに入り、空爆の爪痕や怪我人であふれる病院の様子などを撮影し、帰国した。04年4月にまた有給休暇が付与されたので、バグダッドに入った。その2日後だった。

「日本人3人が誘拐された。激戦地ファルージャの武装勢力が『自衛隊を撤退せよ、さもなくば人質を焼き殺す』と要求している」。衛星放送アルジャジーラから第一報が流れ、日本は大騒ぎになった。この3名は人道支援者とジャーナリストであったのだが、日本の世論は自己責任論で一色になった。「危険なイラクに入って、迷惑をかけた奴ら」というバッシングに晒されたのだ。この騒動の中で「公務員のくせに、イラクに行ってる奴もいるぞ」。私の存在がバレてしまい、地元吹田市議会では「西谷の休暇を認めた上司の責任」を問う質問が与党各党から噴出

した。与党議員たちは、私を直接責めないで上司や職場を責めてきた。「3週間もイラクにいけるのなら、定数1を削減しても大丈夫だな」。これで市役所を辞めてジャーナリストに転職する決意を固めることができた。決意は固めたが、私はセコイので「冬のボーナスをもらってからにしよう」。かくして私は04年12月にフリージャーナリストに転職したのであった。これもあの意地悪な与党議員たちのおかげである（笑）。

アフガンで中村さんと邂逅

振り返れば、あの頃の小泉・竹中改革に続いて、大阪維新の会・橋下徹知事の登場で職場はほとんど窮屈になっていった。今、同じことをするのは無理だろう。

2009年から主な取材対象をアフガンに移した。オバマ大統領（当時）が戦争をイラクからアフガンにシフトさせ、猛烈な空爆を繰り返していたからだ。10年1月、アフガン東部の街ジャラバードを取材中、偶然にも医師で

ペシャワール会現地代表の中村哲さんと出会った。この時は7年に渡る「緑の大地計画」が成就する直前でマルワリード（現地語で真珠）水路が3週間後に貫通することだった。上の写真はマルワリード水路から畑へ水を引き込むための小水路を掘っているところ。バリバリバリ、頭上を米軍のヘリが飛んでいく。中村さんは静かに「この用水路で15万人の命が救われます」。カメラの前でボソボソつと語ってくださいました。私なら「これ見てくださいよ！す



10年前、人々はスコップで小水路を手彫りしていた

ごいでしょ 15万人ですよ。ホンマに苦労しましたわ」と自慢するところだが、飾らずボソボソつと語る姿に感動した。その後10年の時を経て「緑の大地計画」は約1万6千畝、東京ドーム3500個分の砂漠を緑に変えて65万人の命を救う大事業に進化、事業が順調に進んでいるかに見えた19年12月、中村さんと運転手、護衛4名の合計6名が何者かの凶弾に倒れてしまった。



この場所は緑あふれる肥沃な土地に生まれ変わっていた

10年ぶりに再訪すると

一体なぜ？ 大きなショックを受けた私は、中村さんの足跡を映像に残そうと思い、アフガニスタンに入る準備を試みた。そこにコロナが襲ってきた。緊急事態宣言が出て、飛行機が飛ばないかわからない状態。アフガニスタンへは直行便がないので、アラブ首長国連邦(UAE)のドバイを経由しなければならぬ。果たしてドバイに入国できるのか、ドバイからカブールへの便は飛んでいるのか、帰国した関空で2週間幽閉されてしまうのか…。情報が錯綜する中、中村さんの一周忌が迫ってきた。第2波が収まりを見せてきた昨年10月、私は入国できる保障もなくアフガニスタンへと旅立った。ドバイで数日待たされたが、首尾よく首都カブールから車で約4時間のジャラバードまでに入ることができた。そして10年ぶりにガンベリー砂漠の中を流れる一本の用水路に到達した。右側がマルワリード水路、そして左側がスコップで手掘りしていた小水路だ。(写真・中)

あの時草木一本生えていなかった大地が森に、畑に、果樹園になっていた。ビデオカメラを回しながら涙が止まらなかった。生前の中村さんは用水路についてこう語っている。

9条こそが日本の強み

「銃で押さえ込めば、銃で反撃されます。当たり前のことです。でもようやく流れ始めた用水路を誰が破壊しますか？ 緑色に復活した大地に、誰が銃弾を撃ち込みたいと思いますか？ それを造ったのが日本人だと分かれば、少し失われた親日感情はすぐに戻ってきます。それが本当の外交なんじゃないかと僕は確信している。9条があるから海外ではこれまで絶対に銃を撃たなかった日本。それが本当の日本の強みなんですよ。」

砂漠の中の農園は19年まで「ガンベリー農園」と呼ばれていた。中村さんの死後、ここは「ナカムラ農



中村さんは今も用水路を見つめている

園」と呼ばれるようになった。その農園の中心に記念塔が建っていて、微笑む中村さんの肖像画が描かれている。現地の人々は敬愛を込めて「カカ・ナカムラ（中村おじさん）」と呼び、肖像画はじつと用水路を見つめている。（写真・下）

干ばつの原因は温暖化

最後に「なぜ用水路だったか」について述べる。この地が大干ばつに襲われたのは2000年になってから。理由は地球温暖化。今までは7千メートル級のヒンズークシュ山脈に雪が積もり、春先にはその雪解け水が麓の村をうるおして農業が成り立っていた。近年、冬の雪が雨となり雪解け水が大幅に減少、地下水位が下がって井戸が枯れ、耕作地は砂漠になった。村人は職を求めて隣国パキスタンへ。人々は戦争難民であり、気候難民でもあったのだ。

「もう井戸では無理。クナール川から水を引き込むしかない」。こうして緑の大地計画が実行に移された。当初、アフガン人でさえも信じなかった途方もないビッグプロジェクトが17年の月日を経て、見事に実現された。コロナの動向を見ながら、私はまたアフガニスタンに入ろうと考えている。現地の映像を撮影し続けることが、私にできる最大の供養だ

と思うからだ。というところで今後も「路上のラジオ」その他で、現地からの発信を続けていきます。どうぞご愛聴くださいね。

中村さんの偉業とアフガンの難民キャンプや病院の様子を約30分の映像にまとめたいです。希望される方は、イラクの子どもを救う会までお申し込みください。差し上げますので、後日郵送いたします。申し込みは電話かメールで
電話 06(6170)4757
メール nishinishi@r3.dion.ne.jp

「路上のラジオ」主催「スガ政治を許さない！」連続講演会のお知らせ



アセアンをアルゼンチン、福岡を静岡と言いつつ間違えても別に攻めたりしません。貧困、失業にあえぐ国民に対して「優しい政治」をしてくれるのなら。

この間のスガ総理の行動は、GO TOにこだわりコロナ感染を拡大させ、国民に「会食するな」と言いながら8名のステーキ会食。そして飲食業に責任を負わせるかのような「罰金制度」。

もう我慢ならん！コロナ感染対策を行いながら学習を深め、スガ政治打倒の声をあげましょう。大阪での連続講演会を企画しました。ぜひ、ご来場ください。

1 佐高信が斬る！ 菅義偉総理大臣の10の大罪

日時：21年4月17日 午後2時から
場所：大阪市立天王寺区民センター 大ホール
資料代 500円
聞き手 西谷文和



2 前川喜平がスガーリンを語る スガ政治の裏で何が行われたのか

日時：21年5月1日 午後2時から
場所：大阪市立天王寺区民センター 大ホール
資料代 500円
聞き手 西谷文和

関西地方の方、お時間あれば予定してくださいね。遠隔地の方、この内容は後日「路上のラジオ」で放送いたします。ご期待ください。

あなたのご寄付で発信を続ける「路上のラジオ」ご支援よろしくお願いたします

【寄付の宛先】

口座番号	ゆうちょ銀行 00950-6-238014 近畿労働金庫 吹田支店 普通 8788810
口座名義	路上のラジオ (ロジョウノラジオ)

路上のラジオ&新聞うずみ火主催 矢野&西谷ここだけのコラボ

またまた大阪の公明党が裏切るの？ 大阪都構想の住民投票で反対が上回ったのに、大阪市を解体？ なぜメディアが吉村知事を持ち上げるの？スガ政権、維新の会、竹中平蔵流民営化路線は日本を、大阪をどこへ導く？

様々な疑問をジャーナリスト矢野宏と西谷が解き明かします。

日時 21年3月27日(土) 午後2時から
場所 エル大阪南ホール
資料代 500円

小出先生に聞く その1 原発がCO2を出さないって本当？

—政府や電力会社は「原発はCO2出さない」と宣伝してきましたが、これは本当ですか？

小出 本当ではありません。かなり昔はそう言っていたのですが、途中からちよつと変わって「原発は発電時には出さない」と言い換えた。なぜか？ ウランの核分裂反応では出さないが、原子炉を建造するときも、ウラン鉱山からウランを掘り出す時

も膨大なCO2を出します。核のゴミを始末するときにも出してしまふ。つまり原子力を使おうとすれば、そこからCO2を膨大に出してしまふのです。なので「原発はCO2を出さない」という宣伝は最初からウソだったわけです。しかし原子力マフィアたちはなんとか言いくるめようとして「発電時には」という言葉を付け加えたわけです。

ラジオが市民の暮らしに根差した虫の目をもつメディアだからこそ、大切にしたいことだと考えています。そんな中ではありますが、また衝撃の事実を知りました。第45回の「路上のラジオ」の中で、小出裕章さんが「放射線が新型コロナウイルスをはじめウイルスを変異させていくこともある」とおっしゃいました。ウイルスは太古の昔からこの地球上に存在するのだから、新型というなら私たちが新型哺乳類なのだと。私たちは自然に対する畏敬の念を忘れ、原子力のような自分たちではどうにも制御しきれない破滅的なシステムをつくり動かしている世界に暮らしています。結果として当然に生態系を壊し、その連鎖の頂点にいるらしい人間の生命をも今、パンデミックが次々と奪っているのです。そんな恐

—イメージして恐ろしくて、あれだけ大量のCMが流れてしまうと、なんとなく石炭火力はたくさん出すけど、原発はゼロなんだと。

小出 そう感じる人は多いでしょう。四六時中、そういう宣伝をしてきたわけです。原子力マフィアたちは「原発は石炭火力の50分の1しかCO2を出さない」と言います。なぜ彼らがこう主張するかと言います

るしい事実をまたもやこの番組で伝えなければならぬ現実があります。レジ袋を減らすのはウミガメのためだけではなく、CO2を減らすのはキリバス、バヌアツ、ツバルのためだけではないと、なぜハザードランプが真っ赤に点滅するまで私たちは気が付かないのでしょうか？ 本当に愚かしいことです。

「路上のラジオ」は小さな小さなミニコミですが、だからこそ権力や金の力に影響を受けない本当のことを伝え続けたいと願っています。そして皆さまに安心情報と希望情報をお伝えしたい気持ちをおこらぬ大切に、丁寧に番組を編んでいきたいと思っております。引き続きの応援をどうぞよろしくお願いたします。

(ディレクター・山本 素)

編集長のひとり言

誰もが不安なコロナ禍にあつて、少しでも希望もてる情報をもつと思うのですが、この期に及んでも政治家たちは保身と金と名譽にご執心のようで、「路上のラジオ」でもなかなか明るい話題を取り上げられていません。私はほんの少しだけ、大学にラジオを教えに行っているのですが、26年前の阪神淡路大震災のときにラジオ局を切り盛りした者のひとりとして、市民が災害をはじめ災難に苛まれているとき、他でもないラジオが伝えるべきこととは、安心情報と希望情報だとお伝えしています。あの頃、いつ給水車が来るのか、いつになったら自分の住む町にガスがつかぬのか、大好きな恋人と笑いながら街を歩ける日がいづ来るのか…。人は希望があればまた少しがんばれます。そしてこのことは、

ラジオが市民の暮らしに根差した虫の目をもつメディアだからこそ、大切にしたいことだと考えています。そんな中ではありますが、また衝撃の事実を知りました。第45回の「路上のラジオ」の中で、小出裕章さんが「放射線が新型コロナウイルスをはじめウイルスを変異させていくこともある」とおっしゃいました。ウイルスは太古の昔からこの地球上に存在するのだから、新型というなら私たちが新型哺乳類なのだと。私たちは自然に対する畏敬の念を忘れ、原子力のような自分たちではどうにも制御しきれない破滅的なシステムをつくり動かしている世界に暮らしています。結果として当然に生態系を壊し、その連鎖の頂点にいるらしい人間の生命をも今、パンデミックが次々と奪っているのです。そんな恐

編集後記

このニュースがみなさんに届く頃、私は鹿児島県の馬毛島取材しています。なぜ？詳細は路上のラジオ第43回目「佐高信が斬る!アベスガ竹中の大罪」を聴いてみてくださいね。帰阪したら、またラジオで報告しまーす。

と、彼らの希望するモデルを作つて、ウラン鉱山ではこれくらいしか出ません、燃料加工の時もそれほど出ません、原発運転時もそれほど電気を使いません、そして原発は事故など起こしません(苦笑)、と。仮に原発が事故なく安全に止まったとしても、出てきた核のゴミの問題があります。彼らは「地面の下に埋め捨てしまえばそれで済みです」といいますが、それは「願望のモデル」に従つて計算しただけのことなのです。核のゴミは猛毒なので、埋めたとしても10万年、100万年もの間、お守りをしなければならぬ。その管理のためにどれだけのエネルギーが必要なのか、どれだけのCO2を排出するのか、もう誰もわからない状態になつてしまつたというのが現実です。結論を述べると、もしCO2が地球温暖化の原因だとすれば、原子力だけはやっつけてはいけません、ということになります。